

ずしスポ推だより

-第20号-

令和6年度総会報告

四月十二日(金)令和6年度総会が逗子市役所会議室において開催され、令和5年度事業・決算報告、令和6年度の事業・予算計画は原案通り承認頂きました。ありがとうございます。

いろいろなご意見を頂き今後に生かせればと思っています。執行部としては、新しい常任委員も加わり12名の体制となりました。私たちの組織は逗子のスポーツ行政の実働部隊です、常に新しいものに取り組んでいきたいですね。

会長挨拶 (松井 弘喜)

市政70周年の年、令和6年度も新たにスタートいたしました。

新たに2名の推進委員の仲間が加わり49名で逗子市のスポーツの振興に取り組みたいと思います。今年は新規スポーツの提案、他市との交流など活動の範囲が広がると思います。皆様の積極的な行事参加をお願い致します。

また、長年推進委員として活躍頂き退任された諸先輩の皆様、大変お世話になりました。

令和5年度の活動

第64回全国スポーツ推進委員研究協議会(青森大会)

十一月十六日(木)、十七日(金)の二日間、青森県青森市に全国から2800名余のスポーツ推進委員や関係者が一堂に集まりました。

十六日の全体会は「リンクステーションホール青森」で、歓迎アトラクション(県立青森工業高校ねぶた部のねぶた囃子と五所川原第一高等学校津軽三味線部の津軽三味線のすばらしい演奏)、開会式・表彰式、基調講演、シンポジウムが行われ、基調講演では、五所川原市出身女子陸上競技オリンピック四大連続出場の高橋加代子さんが、終始笑顔で「笑って走れば福来たる」をテーマに、高校の恩師からの言葉「負けた事に負けるな、次に生かせ。今できることを一生懸命やること」など、アスリートとしての考え方や自身の過ごし方についてでした。

シンポジウムでは、「コロナ禍を超えたコミュニティスポーツの新しいかたち」をテーマに、3名の方から提案があり、中でも「コ・デザイン」(協同のデザイン)そのために課題を自分事にとらえる、集団内

での共有、自分達で出来ると思うことが大切、そのために運動・活動したくなる仕掛けを作る、ワクワク・ドキドキ・思い出となる体験をさせる。など、興味深いお話が聞けました。

翌日は、2会場に分かれ、前日のシンポジウムを踏まえ、第一分科会では「スポーツが高齢社会で実現できること」、第二分科会では「地域とスポーツがつながるために」をテーマに、マスターズの記録保持者や高校のクラブ指導者などが実体験を発表し二日間の大会を終了しました。

今大会に於いて、岩下 晃さん(逗子)は全国スポーツ推進委員功労者表彰を、私は文部科学大臣表彰を頂きました。体育指導員(現スポーツ推進委員)になって40年余り、諸先輩のご指導の下、微力ながら逗子のスポーツ推進のお役に立てたのかなと思っています。

十二月二十日、桐ケ谷市長を表敬訪問し、活動に対して感謝と慰労の言葉をいただきました。(池子 山口勝)



山口さん(左) 岩下さん(右)
おめでとうございます

県スポーツ推進委員大会

二月三日(土)横浜関内ホールにて開催。アトラクションの神奈川県警察音楽隊の演奏、横浜中華芸術団の「京劇」を古箏の生演奏で観賞しました。

基調講演はパラスポーツ協会の高橋秀文氏のマシンガントークで、パラスポーツ界のご苦労と選手のうら話などを拝聴しました。「失われたものを数えず、今ある物を生かす」と言う一言が印象に残ります。式典に移り、112名の功労者表彰と、3名に感謝状が授与され、逗子市では6名が表彰されました。(沼間 高橋 妙子)

受賞された方々

村田 祐子(逗子) 森山 文子(山の根)
高橋 妙子(沼間) 前田 有希乃(新宿)
本屋 啓一(小坪) 小野 千恵子(小坪)



左から本屋、前田、高橋、小野、森山さん
おめでとうございます

実技研修会

六月十七日(土)メインアリーナでフレスコボール協会とコーンホール協会の方々と講師に招いて行いました。

卓球のラケットより一回り大きなラケットで、味方同士でボールを落とさずラリーを続けるフレスコボールは、相手に打ちやすいボールを返さなければならぬ点で、相手と競う競技と異なります。テニスでボレーを打ち合う感覚なので、



いい汗流しました。お疲れさまでした

テニス経験者には取っ付きやすいと思いました。

一方のコーンホールは約60×120cmのボード(的)に空いた穴に、重いビーズ状の物が入った布袋(ビーンバッグ)を約8m離れた所から投げ、ボードに載せるか、穴に入れて得点を競う競技で、ちよつと重い布袋を的に向けて投げるのに、投げ方のコツをつかむまで苦労していました。両スポーツ共、出席者のほとんどが初体験で有意義な研修会でした。

救急救命講習は今年も逗子市消防本部に行つての講習で今まで受けた事のない方などが受講しました。

(久木 石渡 眞澄)

体力テスト会

十月九日(祝)逗子アリーナで行われました。今年も昨年と同様に20才〜64才と、65才以上の枠に加えて、3才から就学前児の体力測定が組み込まれました。



お母さんが見てるよ。頑張れ！

参加者は64才までは18人、65才以上は13人、就学前児は24人と、昨年よりも子供の参加は少なかつたですが、お父さんとお母さんがお互いにお子さんを見ながら参加して、今度はお子さんの体力テストを行うなど、家族で楽しみながら参加されている方もありました。

毎年体力テスト会の手伝いはしていますが、実際にテストを受けたのは何年も前になるので、そろそろ自分も体力テストに参加して、測定したいと思いました。

(小坪 佐藤 千香)

横三ブロック研修会

(横須賀市担当)

十月二十八日(土)横須賀総合体育館で、逗子市(9名)三浦市(8名)葉山町(9名)の推進委員と各市町の事務局(1名ずつ)で実施されました。

ピックルボールとモルックそれぞれグループディスカッションの3班に編成され45分のローテーションで研修しました。

モルックは逗子でも推進委員の研修会で取り上げスポーツの祭典や市民祭りなどで行われていますが、運営の方に関わっていた為、久しぶりに汗を流しました。

普通屋外で行いますが、今回は体育館で人工芝のマットを敷いて行いました。

土の上と違ってモルックの転がり方や弾み方が大きく、スキットルの倒れ方も違って難しく、大変楽しく研修できました。

ピックルボールは初めての体験でした。バドミントンと同じサイズのコートでプラスチック製の穴の空いたボールを木製などの固いパドル(ラケット)で打ち合う競技で、

サーブ権、2バウンドルール、ノンボレーゾーン等、テニス経験者には戸惑うルールになっています。

私の班は津久井さん・山上さん・新藤さんと横須賀の男性の5人で、研修は白熱でした。山上さんはバドミントン経験者、津久井さん、新藤さんはバレー経験者です。コートに立つと大変激アツになります。ラリーが続くスマッシュで決める。初体験でしたが上手くでき面白さがわかるスポーツで、これからは機会があったらプレーして、汗を流したいと思いました。

グループディスカッションは「スポーツ推進委員の担い手不足解消と人材育成」というテーマで、大変難しい問題だと思います。葉山町はスポーツ推進委員を公募で5人ほど採用されたそうで、逗子も参考にしても良いかも知れません。

私は細く長く微力ながらスポーツ推進委員を務めていきたいと思っています。

(新宿 前田 有希乃)

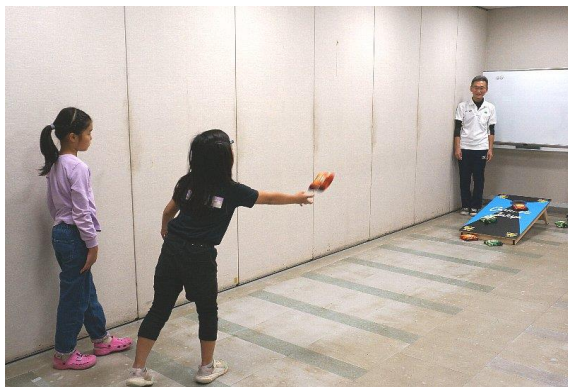


床の上ではモルックが大きく弾みます

スポーツの祭典

十月十五日(日)逗子アリーナで開催。

コーンホールには、大人から子供まで多くの皆さんがチャレンジしました。(雨天のため室内で実施)大まかなルールとしては、約8m先に置かれた穴の開いたボードに向かつてピンバッグという布袋を投げて、穴に入れば3点、ボードの上に載ったら1点獲得できるというもの。布袋のイメージは、ちよつと大きめの四角いお手玉。初めての方が大半でしたので、まずは体験ということで、近くから投げたり正規の距離から投げたりしてもらいました。ボードの上は滑りやすいため、皆さん、どうしたらボードの上に載せられるか、どうやって穴に入れるかと苦労していました。下手投げでふんわり投げたり、慣れてくると布袋を回転させながら投げたりと、皆さん高得点を狙って夢中になっていました。(久木 高田 次郎)



実技研修で行ったコーンホール。早速参加者に指導(研修の成果)が出来ました



桐ケ谷市長も卓球マシンに挑戦



みんなでラジオ体操をしてから始まります

県スポーツ推進委員研修会

十一月二十三日(祝)平塚市ひらつかサンライフアリーナで、195名の参加者で行われ、逗子市からは、松井会長他3名が参加しました。

県推進委員連合会川口会長挨拶の後、研修会を開始。今回は全米で急成長の新スポーツ(ピックルボール)です。講師は、やまとピックルボールクラブ他4団体で、全米では500万人のスポーツと言われています。16ブロックに分かれ、ボールとパドル(ラケット)の感触を掴む為、ラケットでボールを上につく、相手とのラリーなどをを行い、その後ルール説明及び実戦形式で試合をし、中断してルール補足説明を行いました。熱心な指導のおかげで、2時間がアツという間に過ぎました。私も練習を重ね、いずれは試合に出たいと思っています。(小坪 高木 彰)

関東スポーツ推進委員

研究大会(群馬)

六月九日(金)・十日(土)の2日間で群馬県ALSOCKぐんま総合スポーツセンターをメイン会場に開催。「群雄であれ」を大会テーマに関東各都県のスポーツ推進委員が一同に集まり、生涯スポーツの諸問題について研究協議する大会で、逗子からは松井会長、佐藤の2名が出席

しました。

大会1日目は表彰式とパネルディスカッションがあり、表彰式では神奈川県から24名の方が表彰され、私もその一人として表彰を受けました。これも皆様に助けられながら楽しく活動できたからと感謝申し上げます。

パネルディスカッションでは、上武大学講師の菅谷美沙都氏をコーディネーターとして、群馬県スポーツ推進委員協議会の蜂谷会長、設楽副会長、3人制プロバスケットボールチーム「MINAKAMI TOWN EXE」代表の大塚俊氏の3名のパネリストと「新たな時代における地域スポーツの普及に向けて」をテーマに地域の現状と課題について話がありました。スポーツ推進委員を探すのが大変な話もあり、どの地域でも抱える問題は同じだと感じました。

大会2日は残念ながら所要で参加できませんでしたが、ボッチャ、モルックの体験と富岡世界遺産ウォーキングが行われました。(小坪 佐藤 千香)



佐藤さん おめでとうございます

第71回逗子市内一周駅伝大会

一月十四日(日) 好天の下行われました。今回は交通規制等の関係から池子の森400mトラックをスタートし、小坪海浜公園脇がゴールの5区間に變更されて行われました。参加チームは地域対抗11チーム、団体対抗25チームにて競い合いました。私たちの池子は3チームの出場をめざし準備をしていましたが、数名の選手が不参加となり、2チームでの参加になりました。

Aチームは1区で中学生が頑張る、区間賞の走りで襷を渡し、続く2区・3区をベテランと高校生が区間2位の記録で繋ぎ、4区・5区が区間3位の成績で頑張り、全区間で首位をキープ。見事優勝が出来ました。



池子チームの皆さん、おめでとうございます

ゴール時は途中繰上げチームに抜かれ、見掛けの順位は2位でしたので結果が判るまではひやひやしました。

Bチームも中学生の健闘とベテランの活躍で10位でした。

大会2位が続き、5年ぶりの優勝でした。来年も優勝を目指し、3チーム参加を目標に頑張ります。逗子のみなさん、駅伝ファンの皆さん今後市内一周駅伝の応援宜しくお願い致します。(池子 清水 勲)

ボッチャ大会

三月十七日(日)、第4回目を逗子アリーナで開催。

ボッチャは陸上のカーリングといわれ、誰でもできるスポーツですが初めての頃はただぶつけて相手を弾き飛ばす事だけ考える試合がほとんどでしたが、今回は戦略・相手を邪魔する・相手の裏をかくなど本来のボッチャのテクニックを考えて試合に臨むチームがあるなど、高度な大会になってきたようです。



狙った所に行ったかな

将来この大会も各学校で対抗したり、高齢者チームと若者のチームとの対戦があったりと本来のユニバーサルスポーツとして逗子に定着していくといいなと感じました。

ある観客の一言、「逗子にこれだけボッチャの審判員がいるのに驚いた」で胸を張る事が出来ました。(新宿 松井 弘喜)

令和6・7年度

逗子市スポーツ推進委員名簿

逗子	津久井 加代子 (常任)	池子	小南 博明 (会計監査)	久木	鈴木 美枝子
	江島 博		福本 藤彦		石渡 眞澄 (常任)
	反田 由佳理		笠原 恵子		松岡 俊一
	村田 祐子		中村 正喜		竹下 志浩
	野崎 真生		清水 勲 (常任)		高田 次郎 (会計監査)
桜山	蒲谷 昇	山の根	初谷 奈美子	小坪	宮澤 久美
	黒川 正孝		小林 広至		宮崎 晋
	澤 美咲子 (会計)		祐野 友里 (新任)		山口 順子
	伊東 やちよ		峯尾 尚子 (常任)		小野 千恵子
	下山 安寿美		高橋 進吾		佐藤 千香 (副会長)
沼間	武藤 浩二 (常任)	新宿	森山 文子		高木 彰 (副会長)
	平井 規之		浅川 尊美		飯田 博茂
	鈴木 繁昭		堀越 泉 (新任)		神戸 幹雄 (常任)
	高橋 妙子 (常任)		松井 弘喜 (会長)		本屋 啓一
	児玉 豊子		前田 有希乃 (常任)		近藤 雅江
沼間	田中 邦江		吉井 浩		
	野添 宏次		御館 康成		

広報委員会

石渡眞澄・笠原恵子・

松井弘喜・佐藤千香・高木 彰

発行／逗子市スポーツ推進委員協議会

事務所／逗子市役所 市民協働部文化スポーツ課

TEL／046-873-1111 (内線 277、278)

発行責任者／松井 弘喜

編集後記

早いもので、平成 17 年に「体指だより」として始まった「スポ推だより」も第 20 号を迎えました。スポーツ推進委員の皆様には行事への協力とともに記事への協力をしていただき、編集委員一同感謝しております。今後もご協力をお願いいたします。(K. K)